富士山新報
1月8日
金曜日
発行所
株式会社　育心
〒418-0002
富士宮市中原町7番地
☎(0544)24-9050
FAX(0544)24-9007
購読料 1か月 630円
1部売り 50円

不動産 売るのも 買うのも 借りるのも
㈱斉藤商事
不動産事業部
〒418-0023 富士宮市山本425
TEL(0544)27-2623(代)
FAX(0544)27-2624

救急隊員の技術向上を目指し

救急技術向上訓練初開催

富士宮市消防本部（蛭川公雄消防長）は、消防本部2署4分署に所属する救急隊員（本年度36名）それぞれの個人スキルのより以上の向上を図ることを目的とし、救急技術向上訓練を開催した。

同訓練開催は、初めての試みであったが、全ての救急隊員が日頃から各隊の業務の合間に、指導救命士が出題する想定訓練（外因・意識障害・ショック・胸痛及び腹痛の4想定）実施、個人スキルの向上に励んでいる。

今回、市役所7階特大会議室で開催された訓練は、救急傷病者や関係者に対しての問診や身体所見、観察内容から傷病者に隠されている生命を脅かす病態を素早く把握し、それらに対する現場でできる救命措置を実際（ダミー人形・人）に実施し、その救命技術や方法、隊のチームワーク等についての評価を受けることで、今後の活動に活かすための訓練であり、個人スキルのより以上の向上を目的としてのものであった。

訓練は、突発的な事態に備えることが最も重要である救急定員の業務形態に支障がないように、隊員36名を18名ずつの2班に分け、同一のカリキュラムで、2日にわたり開催された。

訓練は開会から、最初に西消防署望月良純救急係長から「訓練要領説明」と「注意事項」が話され、訓練場所への配置等の準備を行い訓練を開始した。

訓練は両日共に、中央消防署・東分署・芝川分署・西消防署・北分署・上野分署の6署から参加（3名＝1署）した18名が、分署毎チームで行った。

訓練内容としては、1か月前に各分署ごとに、予め指導救命士から与えられていた課題（病態）に対し、1か月間重点的にシミュレーション訓練に取り組み、その成果を発表する形で行われた。

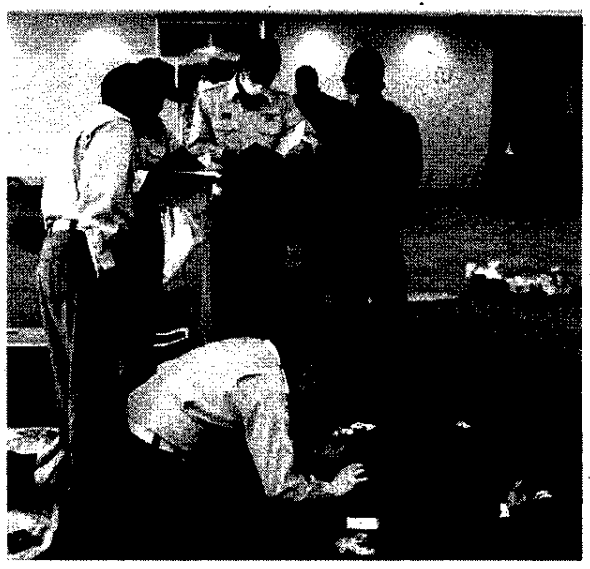
各分署には予め①意識障害②胸痛・腹痛③ショック④外因の一つが課題として与えられていたが、どの病態にも、生命や患者の予後を脅かすもので「重症度と緊急度」を判断するための身体所見や、患者や関係者からの問診内容にキーワードがあり、その中から予測できる病名と医療機関に到着するまでの観察や特定行為（気管内挿管、静脈路確保、薬剤の投与）を15分の限られた時間内に実施するというものであったが、参加した6分署チームともに、観察方法や関係者とのコミュニケーション、隊のチームワークと処置技術については、ほぼ完璧とも思える結果を出したが、終了後には指導救命士から細かな点での注意がなされていた。

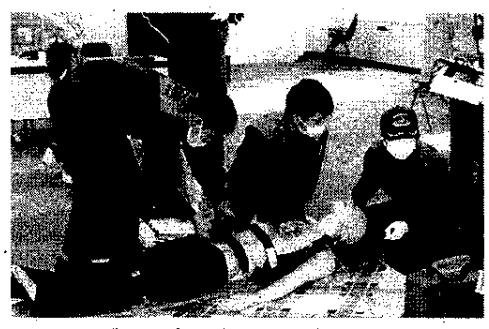
現在、富士宮市消防本部2署4分署には、救急業務に関わる職員61名の内で、国家資格である救急救命士資格を有する者は27名いるが、有資格者には各署・分署ごと指導的立場である教育担当救命士による日頃からの教養・訓練をはじめ、富士宮市立病院での3日間24時間に及ぶ病院内研修の他、定期的に富士市消防本部と合同で、特異事案の検証会を実施している。

今回の救急技術向上訓練は「生涯学習」の一環として、各署・分署の訓練状況を指導救命士が評価し、フィードバックを与えることで、今後の救急活動を行う上での知識と技術の向上に努めるためのものであった。

今回の訓練が初の開催でありながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、少人数での開催となったが、コロナ過の終息が予測できず、病院の一般診療にまで影響する恐れさえ呟かれる現状では、富士宮市消防本部の救急業務に関わる職員の個人的スキルアップは、まさに時宜を得たものであり、市民にとっては何よりも歓迎すべきものである。

搬送前に状況を把握し


隊員の処置を指導救命士が査定


ダミー人形を使って人工呼吸

今後の活動への期待を込めて

富士宮LCが高校会議所に支援金贈呈

富士宮ライオンズクラブ（望月達也会長）は5日、市内黒田のゲストハウスフォレストヒルズで行われた、1月第一例会において、「富士宮高校会議所」に対し活動協力金として5万円を贈呈した。

同日、活動協力金を贈呈された富士宮高校会議所は、富士宮市内6校（星陵高校・富岳館高校・富士宮北高校・富士宮東高校・富士宮西高校・富士宮高等専修学校）の高校・専修学校生有志によって、平成28年2月に発足した組織で、令和2年度は21名の会員で構成されており「富士宮を高校生の力で町おこし」をコンセプトに、市内の高校生が連携して地域振興・ビジネスの手法を実戦から学びながら、地域における人材育成を目的として活動を続けている。

望月会長から支援金とオリジナルエコバックを贈呈され

5日の支援金贈呈では、澤田明歩会頭（富士宮学園3年）らに望月会長が、支援金と富士宮ライオンズクラブのオリジナルエコバッグを贈呈した。

贈呈を受けた澤田会頭は、感謝の気持ちを前面に出し、高校生とは思えぬ程のはっきりとした口調で「有難うございました、本日いただきました金員につきましては、ライオンズクラブメンバーの皆様のご期待に違わぬように、有効に使わせていただきます。

今後も皆様のご期待にそぐわぬよう、会員一同真剣に富士宮市の将来を考え、高校生として、高校生ならではの活動をできる限り続けて参りますので、今後もご指導いただけますようお願いします」と謝辞を述べた。

富士宮ライオンズクラブの望月会長は「富士宮高校会議所の、市内の高校生が連携し、高校生の力で町おこしをしようというコンセプトと、地域における人材育成を目的とした設立趣旨は、当クラブの青少年育成事業の主旨にも合致していることから、当クラブでも支援をしていこうということになりました。

1月第一例会で、支援金の贈呈後に、代表の2名のメンバーから高校会議所の活動内容の説明を受け、質疑応答では、ライオンズメンバーからの質問に対しても、高校生とは思えない程、はっきりと判り易く対応し、富士宮市の今後についても明確な将来像を描き、事業を進めていることは、高く評価できると思いました。

今後の更なる活躍を期待しています」と話していた。

平野整形外科
富士宮市ひばりが丘650
（富士宮バイパス沿）
☎27-4391

家庭的愛情のなかで
人間形成の基礎を育てる
愛育託児所
富士宮市淀川町3番9号
☎0544-26-5834

広告は富士山新報へ

富士山がはぐくんだ
朝霧ヨーグルト豚
朝霧ヨーグル豚
朝霧ヨーグル豚
富士山麓の水と空気が育てた美味しさ
朝霧ハム
富士宮市北山835
☎0544-58-7786
㈲笠井畜産 精肉部
豚珍館
富士宮市北山1395-3
☎0544-58-2072

24時間
365日対応
あなたの会社の救急商社
西川商事株式会社
本社 〒418-0053 富士宮市宮北町19番地
TEL(0544)27-9266
FAX(0544)23-5787
富士店 〒417-0001 富士市今泉329番地1
TEL(0545)30-9700
FAX(0545)30-9788

アルバイト募集
―新聞の配達お願いします―
●二時間位です
●時給一、二〇〇円
●要バイク免許
株式会社 鈴木新聞店
富士宮市小泉一一二四―一
☎二六―三一八五